



平成 18 年 9 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社 ナ イ ガ イ
代 表 者 名 取締役社長 林 勇 二
(コード番号 8013 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役スタッフ担当 油利 隆文
(TEL 03-5822-3810)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 3 月 24 日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 1 月期中間期業績予想数値の修正 (平成 18 年 2 月 1 日～平成 18 年 7 月 31 日)

(1) 連結

(単位：百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	18,000	△600	△800
今 回 修 正 (B)	17,744	△421	△319
増 減 額 (B - A)	△255	178	480
増 減 率	△1.4	—	—
前期(平成 18 年 1 月期中間)実績	20,031	△1,099	△1,419

(2) 単体

(単位：百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	13,000	△400	△500
今 回 修 正 (B)	13,175	△607	△472
増 減 額 (B - A)	175	△207	27
増 減 率	1.3	—	—
前期(平成 18 年 1 月期中間)実績	13,374	△127	△1,512

(3) 修正の理由

当中間連結会計期間は、婦人外衣事業の売上高が予想を上回ったものの、靴下事業の売上高が前期ほどのクールビズ効果が得られず予想を下回った結果、売上高はほぼ予想通りとなりました。また、連結経常利益につきましては、婦人外衣事業の不採算売場からの撤退や事業構造の変革等の経営合理化策による経常利益率が改善したことにより、靴下事業の業績悪化分をカバーし、前回予想を上回る結果となりました。連結当期純利益につきましては、減損損失(203百万円)が当初見込額(600百万円)に至らなかったため、前回予想を上回る結果となりました。

単体の経常利益につきましては、靴下事業の業績悪化分を単体の他事業ではカバーしきれず、前回予想を下回る結果となりました。

2. 平成19年1月期通期業績予想数値の修正（平成18年2月1日～平成19年1月31日）

(1) 連結

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	39,000	200	0
今回修正予想(B)	38,000	200	200
増減額(B-A)	△1,000	—	200
増減率	△2.6	—	—
前期(平成18年1月期)実績	40,589	△1,764	2,964

(2) 単体

前回発表予想から変更はございません。

(3) 修正の理由

通期の売上高は、上半期の業況に加え、下半期に婦人外衣事業の売場撤退と子供事業の店頭販売減少による売上高減が予想されるため、前回予想を下回る見込であります。また、連結当期純利益につきましては、中間期の減損損失が当初見込額に至らなかったため、前回予想を上回る見込であります。

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上